

桑高同窓会幹事総会

桑高同窓会長 西羽 晃

桑高同窓会では毎年幹事総会を開いています。今年は 10 月 30 日に桑名シティホテルで行いました。例年は 100 人足らずしか集まりませんが、今年は担当学年の方が頑張ってお下さり、120 人集まりました。若い世代に来て欲しいと、今年 3 月の卒業生は会費無料、卒業 4 年以内は半額としましたが、該当する参加者は皆無でした。

私はあいさつで 3 点を話しました。

1. 「うどん部屋」が桑高同窓会の最大の事業です。桑高祭では人気 1 のイベントです。これを支えてくれるのが中年の同窓会員ですが、在学中に「うどん部屋」を知らない世代の方もスタッフに加わってくれます。中でも女性のパワーは凄いです。

2. 昨年の役員改選で「うどん部屋」の女性を 3 人理事に就任してもらいました。平均年齢も下がりました。来年は改選期になります。役員なども世代交代の時期だと思っています。そのための会則改正も今後検討し、来年の総会に提案したと考えています。

また「幹事総会」という名称でも、同窓生なら誰でも参加 OK ですので、来年からは単なる「総会」と名付けたいと思っています。

3. 桑高同窓会副会長であり県立女学校同窓会会長であった水谷由子さんが昨年亡くなくなりました。1 周忌も済みだったので、ご遺品のうち、女学校の教科書や同窓会誌『松韻』のご寄贈をご遺族の水谷元さんから受けました。皆さまのご祖父母、ご両親、ご兄弟やご自身の学校時代の資料、例えばアルバム・

通信簿・賞状・教科書などありましたら、是非ともご寄贈下さい。墨塗りの教科書があれば最高です。桑高の教室の一部に資料室がありますので、保管します。個人情報に関わる通信簿などは金庫で厳重に保管します。

なお記念講演された渡辺尚登氏(桑高全日制 22 回生)は桑高百周年記念誌『桑高百年』を編集された先生ですが、資料室に保管されている『桑高新聞』は創刊号からほぼ保管していますが、紙質も悪くて劣化が激しいので、デジタル化して保存を考えないといけない、と述べておられました。

